



2026年10月13日
東経連ビジネスセンター

PRESS RELEASE

「新事業開発・アライアンス助成事業」の新規採択について

東経連ビジネスセンター（以下、東経連BC／会長 佐々木 裕司：（一社）東北経済連合会副会長）は、「新事業開発・アライアンス助成事業」において、（株）アムスエンジニアリングを新たに支援することとしましたのでお知らせいたします。

東経連BCでは、東北経済連合会が策定したビジョン2030「わきたつ東北」で掲げた「稼ぐ力を高める」の具現化に向けた支援活動を展開しており、今回採択した事業は、募集要項で対象に掲げる「新規性や優位性の高い商品や技術開発力を有するものづくり事業」に該当するものとして採択したものです。

同社は、土壌や燃焼灰の浄化・改質技術をはじめとする環境ソリューション製品の開発・製造に取り組む企業です。今回採択された案件は、溶剤、界面活性剤、繊維・革・紙・プラスチック等の表面処理剤、イオン交換膜、潤滑剤、泡消火薬剤、半導体原料、フッ素ポリマー加工助剤等、幅広い用途で使用する化学物質PFAS（有機フッ素化合物）の分解・無害化に寄与し、環境負荷低減が期待できる「真未来システム」酸化分解反応装置の開発に向けたプロジェクトです。

なお、同助成事業の採択件数は、2011年度の支援開始以来、今回の1件を加え累計84件となります。

記

支援先	支援テーマ	所在地
株式会社 アムスエンジニアリング	PFAS 分解・無害化を目的とした「真未来システム」酸化分解反応装置の開発	宮城県 東松島市

■株式会社アムスエンジニアリング（宮城県東松島市／代表取締役 阿部 登寿男 氏）

- ・ 支援テーマ：PFAS 分解・無害化を目的とした「真未来システム」酸化分解反応装置の開発
- ・ 支援期間：2026年10月～2027年9月
- ・ 支援先：株式会社アムスエンジニアリング
- ・ 事業内容：

有害有機化合物分解システム「真未来システム」、土壌・燃焼灰改質修復材・CO₂吸収材「エコハーモニィ」、重金属吸着・固定化材「アドソープ」、土壌修復処理プラント「ランドレボリューション」の開発・製造・販売

- ・ 共同開発先：

東北大学未来科学技術共同研究センター（仙台市青葉区）、

宮城県産業技術総合センター 自動車産業支援部 産業育成支援班（仙台市泉区）



・開 発 内 容 :

本事業は、真未来システム※を活用した縦型酸化分解反応試験装置の開発を通じて、PFAS（有機フッ素化合物）を環境基準値の 50ng/l 以下に分解可能とする処理技術を目指すものです。

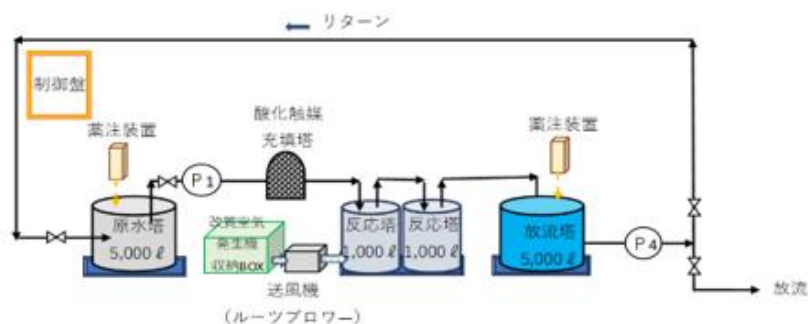
PFAS は、自然環境中で極めて分解されにくく、「永遠の化学物質」と呼ばれ、近年、工場跡地、産業廃棄物処分場、浄水場からの検出事例が報告され、健康や環境への影響が懸念されています。現在、活性炭吸着や RO 膜分離などの処理方法が実用化されていますが、これらは PFAS を除去する技術であり、根本的に分解する技術には至っていない状況です。そのため、処理後の廃棄物管理や再汚染リスクが課題となっています。

本事業が実用化されれば、浄水場や水道施設、工場跡地、産業廃棄物処分場、地下水汚染地域など幅広い分野での活用が可能であり、特に活性炭の交換や焼却処理が不要となることで、処理コストの削減と CO₂排出量の低減を同時に実現できることから、持続可能な環境保全技術として社会的な貢献が期待されます。

※真未来システム：改質空気発生機と酸化触媒の酸化反応により有害有機化合物を分解する技術



酸化分解システムイメージ図



以 上

■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター 佐藤 隆
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階
(一般社団法人 東北経済連合会 事務局内)
Tel. 022-397-9098 Fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>

株式会社アムスエンジニアリング
代表取締役 阿部 登壽男
〒981-0304 宮城県東松島市川下字内響 132-23
Tel. 0225-86-1521 Fax. 0225-87-3510
<https://www.ams-eco.com/>



<参 考 1>

◇過去の支援案件の紹介（直近3年分を抜粋）

No.	助成先	所在地	支援テーマ	研究期間
73	東杜シーテック(株)	宮城県仙台市	AI・IoT 技術を活用した定置網等の水揚げ全数魚種選別技術の実用化	2022 年 7 月～ 2023 年 6 月
	(株)レイティストシステム	宮城県仙台市		
	(株)シー・テック	宮城県気仙沼市		
	東北大学大学院工学研究科 IIS 研究センター	宮城県仙台市		
74	賢治の土(株)	岩手県盛岡市	新規生地特性を有する「モチ小麦:もち姫」を用いた新食感「もちもち姫うどん」及び「もちもち姫餃子」などの開発	2023 年 1 月～ 2023 年 12 月
	農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター	岩手県盛岡市		
	(株)中野製麺	岩手県盛岡市		
75	東洋機械(株)	宮城県仙台市	日本版ミーシェンの安定した製造方法の確立による事業化	2024 年 1 月～ 2024 年 12 月
	(一社)宮城県機械金属工業会	宮城県仙台市		
	(株)二上	宮城県栗原市		
	東北大学大学院工学研究科	宮城県仙台市		
76	(株)中野科学	新潟県燕市	銅製加速空洞内面の電解研磨技術の開発	2024 年 10 月～ 2025 年 9 月
	高エネルギー加速器研究機構	茨城県つくば市		
77	八海醸造(株)	新潟県南魚沼市	新潟県独自技術「乳酸発酵酒粕さかすけ」をベースとした新規発酵食品の創成	2024 年 10 月～ 2025 年 9 月
	新潟食料農業大学	新潟県胎内市		
	新潟県醸造試験場	新潟県新潟市		
	新潟県酒造組合	新潟県新潟市		
78	非公開			
79	Orbray(株)	秋田県湯沢市	多点計測を可能とする高性能光ファイバー水素センサの開発	2025 年 7 月～ 2026 年 6 月
	秋田県産業技術センター	秋田県秋田市		
80	(株)コスモスウェブ	宮城県仙台市	透析排水中和装置における中和プロセス検証について	2026 年 1 月～ 2026 年 12 月
	山形大学 理学部	山形県山形市		
81	ノースブルー(株)	宮城県仙台市	AI 温度解析による高放熱基板向け EV/5G はんだ付け装置開発	2026 年 4 月～ 2027 年 3 月
	トラスト・メカ(株)	宮城県加美郡加美町		
	(株)ラネックス	宮城県仙台市		
	凌和電子(株)	宮城県仙台市		
82	マルヤ水産(株)	宮城県亶理郡亶理町	廃棄ワカメで培養した乳酸菌によるポストイムノバイオティクス缶詰の開発	2026 年 4 月～ 2027 年 3 月
	東北大学大学院農学研究科	宮城県仙台市		
83	(株)スマートハンドレッド	宮城県仙台市	食材別の最適解凍を実現するスマート解凍機の高品位化	2026 年 4 月～ 2027 年 3 月
	(株)PSS	宮城県石巻市		
84	(株)アムスエンジニアリング	宮城県東松島市	PFAS 分解・無害化を目的とした「真未来システム」酸化分解反応装置の開発	2026 年 10 月～ 2027 年 9 月
	東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市		
	宮城県産業技術総合センター自動車産業支援部 産業育成支援班	宮城県仙台市		



< 参 考 2 >

新事業開発・アライアンス助成事業の概要

1. 目的

本事業は、新技術の開発に向けて、東北の企業が産学連携または産産連携により取り組む共同開発に対して助成を行い、東北地域の企業の競争力を強化することを目的としています。

2. 応募資格

(1) 企業の要件

以下の全ての要件を満たすこと

- ・代表開発者は、東北6県及び新潟県に拠点を置き、自ら技術開発と事業化を行う会社であること。ここでいう会社とは、会社法で定める会社を指す。
- ・1社単独での研究ではなく、共同研究先が1団体以上あること。ここでいう共同研究先とは、企業、大学等の研究機関、公設試験研究機関などを指す。
- ・新市場・新流通チャネル・海外市場への参入を目指し、雇用創出、工場増設、投資誘発効果、東北地域の関連企業への発注増加、株式公開に繋がる可能性が見込まれる事業を実施している企業が対象となります。

(2) 対象となる具体的事業

「雇用創出や新たに投資を誘発するなど地域経済に影響をもたらす成長事業」、「新規性など成長が見込める技術力を有する事業」、「異業種や大学などが連携して新しい価値を創出する事業」などのように、東北の「稼ぐ力を高める」ことに資する事業が対象となります。

具体的には次の項目となります。

- ① 農林水産業や観光産業、伝統産業等が東北域内で連携し、地域のブランドとして魅力を発信する事業
- ② 新規性や優位性の高い商品や技術開発力を有するものづくり事業
- ③ 東北の産業が域内外異業種等と連携し、新たな価値を創出する事業
- ④ 大学等の研究シーズを活かし、新たな価値を創出する事業
- ⑤ ILC、加速器関連プロジェクトに関する要素技術の開発に貢献する事業
- ⑥ 自動車、航空宇宙産業等のものづくり技術の進化に貢献する事業
- ⑦ デジタル化、その先のDXの推進により、新たな価値を創出する事業

3. 助成金額

100万円を限度とする。

4. 研究成果の帰属

本助成事業の実施により発生した知的財産権は申請者に帰属することができる。

5. 募集および審査

通年で募集します。審査および助成の決定は、原則として四半期毎に、年4回行います。

■申し込み先 〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 (セントレ東北 11階)
東経連ビジネスセンター TEL 022-397-9098/FAX 022-262-7055